



2019.3.31 四旬節黙想会 ガエタノ・コンプリ師 (サレジオ会)

咲き誇る花を通して神を見る (マタイ6・28)

フランシスクス アシジ モルク

野の花がどのように育つのかという主イエスの御言葉
を思い巡らしながら、咲く花という自然を通して神さま
を見ることについて、咲き誇る桜を楽しんでいる皆さ
まと分かち合いたいと思います。三月下旬と四月の最初
になると、色々な花が咲くので皆さんは春が来ることを
実感しているでしょう。特に桜が美しく咲くと、人々は
お花見をしたり、写真を撮ったり、ビデオを取ったりし
ます。また、桜の木の下に座ってお酒を飲みながら桜を
見る人がたくさんいます。すなわち、人それぞれの楽し
み方があります。花は、美しく咲いて人々の心をなごま
せて、楽しませて、喜ばせてくれる。だが、花が散らな
ければ実はなりません。花は美しく咲いて散るのはさだ
め、実は小鳥や人間の糧になるのはさだめなのです。で
すから主イエスは「花は今日咲いて、明日炉に投げ込ま
れる」とおっしゃったのです。しかしながら、美しく咲
いている花は、人々に良い印象を与え、その印象は永久
に残されるでしょう。「野の花がどのように育つのか注
意してみなさい。働きもせず紡ぎもしない。しかし、
言っておく。栄華を極めたソロモンでさえ、この花の一
つほどにも着飾ってはいなかった。」と主の言葉を考え
てみると、主イエスは、人間である私たちが、美しく咲
いている花のように着飾ることができないことを語られ
たと思います。しかも、私たちは美しく咲いている花を
見ることによって、神さまの美しさと清らかさなど感じ
ることができません。そのために、主イエスは、私
たちが思い悩まないように野の花を見なさいと注意され
たのでしよう。しかも主イエスは、なによりも私たちの
生命は、一番大切なものだとして強調されました。私たち
は、命の尊さを生かし、生きる喜びを互いに分かち合わ

平日のミサ時刻：

月曜日・水曜日・木曜日・土曜日 午前7時
第3土曜日 午前10時30分 子供のミサ(マリア館)
火曜日 午後7時
金曜日 午前10時 初金曜日 午後7時

主日のミサ時刻：

土曜日 午後5時 (ミサ後、聖体礼拝)
日曜日 午前8時・9時30分・午後6時
Sunday Mass in English 9:30 am
(in the Marian Hall)
ベトナム語のミサ 第4日曜日 午後3時30分

なければならぬのです。四旬

節を過ごしている私たちは、こ

の大自然の出来事を通して神さ

まの働きを感じる事ができ、

神のもとに近づくことができ

すように。私たち一人ひとりの

人生が美しく咲いている花のよ

うになるように、永遠の命を目

指して生きていかなければなり

ません。復活祭を迎える準備を

している私たちの言葉と行いが

咲き誇る花のように。私たちは

主イエス・キリストの復活の栄

光に預かるように信仰生活を過

ごしましょう。

新助任司祭の紹介

①名前

Nguyen · Thanh
Hy



(グエン・タン・ヒ)

神言神学院では、高校の時から、いつも親しくヒくん／さんと呼ばれています。グエン神父・ヒ神父・タン・ヒ神父、どれも構いません。どうぞ皆さんが呼びやすいように呼んでくだ

さい。

②生年月日…(昭和62年)

1987年4月6日、32歳

③経歴

1987年、ベトナム、ニャチャ

ンという海がきれいな町で生ま

れました。神言会ベトナム管区

の本部が所在する町でもありま

す。

2003年、来日。

2005年、南山国際高等学校に

入学、同時神言神学院に入る。

2006年、長崎南山高等学校に

転入。

2009年、長崎南山高等学校を

卒業、同年4月、南山大学に入

学。

2011年、多治見修道院で修練

期。

2012年、初誓願を宣立。

2014年、南山大学卒業、同年

5月より、OTP(海外司牧研修)のためオーストラリアに渡航。
2016年、日本に戻り、南山大学教皇庁認可神学部にてファクルタスを修得。

2018年、終生誓願を宣立、助祭に叙階。

2019年、南山教会にて司祭に叙階、4月より南山教会の助任司祭として派遣された。

運営委員長任期後半へ向けて

泉 亨

任期2年の後半が始まりました。

2018年度の教会諸行事を、

様々なことがありましたが何とか無事に乗り切ることができましたこと、皆様のご理解とご協力に感謝申し上げます。

昨年が一番大きなイベントは、やはり聖堂天井裏の耐震補強工事だと思えます。主日ミサに支障なく工事を行い、無数のワイヤーで建物屋上の構造物とつなげ天井板そのものの落下を防ぐことで、万一の時にも安心して聖堂で過ごすことができるようになりました。

その後の改修計画についてはこのところ停滞しておりますが、主任司祭と信徒の皆様の協議のうえで進めていきたいと考えております。

さて、任期後半の今年度の私の目標は3つあります。

一つ目は「教会の活性化」です。少子高齢化の影響でマリヤ会・ヨセフ会ともに各班の活動できる人数が減りつつあり、通常の活動にも支障をきたすことが出てきております。信徒としての義務感で奉仕するというよりは、進んで喜んで参加していただけるにはどうすればよい

か、参加者増加のための模索を行ってまいりたいと思えます。

二つ目は「大規模補修計画の前進」です。様々なご意見がある中で、最大公約数の方向を探り教会で一致して進めて行けるようプロジェクトチームと一緒に考え実行していきたいと思えます。

三つ目は「教会外へのアピールを進める」ことです。そのひとつとしてホームページの刷新を行いたいと思えます。現在の南山教会ホームページは、主日のお知らせ以外ほとんど更新がなく停滞しております。南山教会の外の人がアクセスしても魅力がない、南山教会へ来てみたいと思えない状態と個人的には思っております。そのためか結婚式の数も落ち込んでいます。私がホームページを新し

くしたいと思えます。そのためには結婚式の数も落ち込んでいます。私がホームページを新し

くしたいと思えます。そのためには結婚式の数も落ち込んでいます。私がホームページを新し

くする能力はありませんが、得意な方・専門知識をお持ちの方と一緒に対策を考えていきたいと思っています。

昨年の挨拶の中で、『全員参加の南山教会をめざし』、私はオーケストラの指揮者のような委員長になりたいと申し上げました。強力なリーダーシップのない私です。皆様がお持ちの様々なタレントをまとめ上げ、これまで以上に活気ある南山教会に持っていきたいと思います。その実現のため、今年も信徒の皆様のご指導、ご協力を賜りますようしくお願い申し上げます。

世界の青年と信仰

川西里奈

ワールドユースデーに参加し世界の青年と日々を過ごす中で、また帰国してからの生活の中で、私には3つの大きな変化と気づきがあります。

1つ目の気づきは「信仰とは良いものだ」と心から思えるようになったことです。参加を決めた当時私には、熱い想いや決意といったものはなく、ひとりとして知り合いもないのに団

体生活に馴染めるだろうか、行つて良かったと思えるのだろうか、と不安ばかりを抱えていました。案の定参加者は、国

籍、年齢、職業、性格、何もかもバラバラで、実際に打ち解けたのは後半になってからだったかと思いません。しかし、毎日のミサで祈りを捧げるとき、バブラだと思っていた世界中の青年たちが、手を合わせ同じ方向を向いている姿を目にし、向を向いていく姿を目にし、私たちがひとつの大きな愛なのだと実感するのでした。すべ

きなくても、信じるものがひとつであるという事実は、とても大きな希望であると気づきました。

2つ目の気づきは「若者には世界を変える力がある」ということです。ある日の分かち合いで、日常生活での対人関係の悩みを告白した仲間がいました。

「理不尽な人物に悩んでいるという話を聞き「それはひどい！」とただ同調していたのですが、別のひとりが「じゃあ、その人のために祈りしよう」と言いました。グループの空気は一変

し、全員が暖かな気持ちを持つことができました。私はこのとき、私よりも一回り近く年下の青年が、理不尽な出来事を前に

何気なく言ったその一言に圧倒され、それ以上何も言うことができませんでした。人に心を動かされるということに年齢は関係ないのかもしれないが、若いからこそ、純粋な想いや発言、きらきらとした眼差しは、大人たちに真つ直ぐと突き刺さるはずだと感じました。現に自分にとっては、自己を顧みる大

きなきつかけとなり、今でも忘れられない出来事となっています。

3つ目の気づきは「自分の使命」についてです。これまで日常生活において、信仰について躊躇なく話せる機会は少なかつたと思えます。ですがワールドユースデーに参加して世界の青年たちと共に祈る中で、一番強く思ったことは「もっと信仰に誇りを持つて良いのだ」という

ことでした。そして帰国後少しづつですが、周りの人々に教会へ行っていることを伝え、自身やキリスト教について興味を持ってもらえることも増えてき

ました。このことは私にとって大きな喜びとなっています。私はまだ、自分の使命が何かはつきりとはわかりません。ですが、自分の信仰に自信を持って生きていけば、いつの日か神の呼びかけに迷わず「はい」と答えられる人間になれるのだと思

います。今の自分にとってはこれが何よりも大事なことと感じています。

この3つの気づきは、私ひたりの中で終わるものではなく、

もつと多くの意味を持つことになると、このことをいうことを心に置き

日々祈っていききたいと思います。



典礼一口メモ

香部屋の窓から

第17回 ミトラとバクルスの話

典礼委員長 新内飛鳥

南山教会では例年2月に司教様においでいただき堅信式を司式していただきます。

司教様といえば、ミトラ

(Mitra) ヲバクルス(baculus)

が目に見える特徴の一つです。ミトラは頭に被っている五角形の冠のことを言います。ミトラは典礼を執行するときに被るものと言われています。そのため、入退堂の行列だけではなく堅信の儀式にミトラを被ります。バクルスというのは杖のことです。牧羊杖を象つたともいわれています。どちらも司教の権能を象徴するものです。ミトラとバクルスは司教、大司教、枢機卿、教皇が使います。教皇の杖には十字架が施されています。また司教が多く臨席するミサでは司式する司教がバクルスを持ちます。牧者の象

徴としての意味があります。

南山小教区の堅信式や神言会の叙階式の時にはミトラとバクルスと呼ばれる侍者を立てます。教区のミサなどでも侍者の人数に余裕があれば立つこともありますが、教区のミサの時は大抵、専用の台を用いてバクルスを立て、ミトラを置くようにしています。南山教会の堅信式でもどうしても侍者の人数が整わなければ司教様にそう言って「置く」形でご容赦頂きますが、やはりそのための奉仕者を立てることが望ましいです。ミトラとバクルスの奉仕者は、アルバの上にフメラレ、あるいはベールムと呼ばれる肩掛けを纏います。この祭服はストールのように背中から肩を包み腕を覆います。腕先当たりの内側には掌を差し入れる程度の袋がしつらえてあります。奉仕者はこの袋に掌を差し入れた状態で、ミトラあるいはバクルスを奉持します。

聖体賛美式でオステンソリウムを奉持する司祭と同じです。あるいは聖週間の典礼でチボリウムを運ぶ司祭を想像すると「あくあれのことだね」とイメージしやすいと思います。南山教会の香部屋には白いフメラレと赤いフメラレを保管しています。聖体賛美式は一年中行いますから典礼色すべてがあるのが望ましいですが、ひとまずは聖週間の典礼と堅信式に対応できているので緑色と紫色については将来的な課題です。



2019年度運営委員

立 場	名 前 (敬称略)
主任司祭	新立 師
助任司祭	モルク 師
助任司祭	ヒ 師
運営委員長	泉 亨
副運営委員長	森 直樹
副運営委員長	芳賀 映子
典礼委員会	新内 飛鳥
財務委員会	伊藤 恭輔
広報委員会	松浦 典文
営繕委員会	丸尾 寛道
納骨堂管理委員会	神戸 六郎
ヨセフ会	森 直樹
ヨセフ会	倉井 三吉
書記 (ヨセフ会)	成井 元太
書記 (ヨセフ会)	戸野部 光
マリア会	芳賀 映子
マリア会	神戸 由利恵
マリア会	亀井 映子
典礼奉仕者の会	伊澤 美由紀
宣司評委員・社会委員	加藤 勇
宣司評委員・社会委員	高橋 徹
宣司評委員・社会委員	山本 澄江
宣司評委員・社会委員	菅井 惇子
大樹の会	伊藤 宗太郎
教会学校	伊藤 恭輔
レジオ・マリエ	伊藤 恭輔

立 場	名 前 (敬称略)
青年会	鵜飼 美伽
青年会	松浦 一朗
中高生会	ヴィアード・コーラ
中高生保護者会	休 会 中
子ども部屋	村井 民子
子ども部屋	萩原 房子
子ども部屋	谷 朋子
英語ミサ	Kumai, William Naoki
手話の会	小澤 順子
要約筆記者の会	伊澤 美由紀
オルガン管理委員会	水谷 雅子
バザー委員会	安井 達



司祭団より

4月7日

新、旧、継続の運営委員の皆様、今年度1年どうぞよろしくお願いたします。

アルバート神父様は復活祭後に出発されます。

昨年導入した教会の車が1年点検を受け、問題ないとのことでした。今後も大切に乗りましょう。

布池教会にて松浦司教様もご出席されました。南相馬地区の被害が、金祝。また、聖霊奉侍布教修出依頼の件

油の製造と販売について興味あるお話がありました。

昨年から、ゴミサではなく色々な宗教・宗派(プロテスタント、

イスラム教、仏教、...)の方々が出席されてお祈りを捧げる場となりました。

南山教会からも多数出席いただき、ありがとうございます。

報告・連絡事項

4. 3月17日、第4回城東ブロック定例会議の内容報告

1. 運営委員長挨拶
委員長の泉さんからご挨拶がありました。詳しくは月報で確認してください。

5. 3月21日、教区の司祭・修道者・奉献生活者への金祝銀祝について
AJUから5月26日のわだち祭にご協力頂きたいとの依頼がありました。

2. 各団体、委員会の委員の挨拶と名簿の確認

7. 教区平和旬間行事(8月11日)の実行委員募集について

委員の名簿情報を確認しました。更新版を改めて展開いたします。

協力をご希望の方は、宣教司牧評議会委員の加藤さんまでお申し出ください。

3. 3・11犠牲者追悼・復興祈願の日の行事について

各教会はケーキを焼いてパーティー教会はケーキを焼いてパーティー

の日の行事について

教会はケーキを焼いてパーティー

6. 3月30日、31日 四旬節黙想会について

サレジオ会のコンプリ神父様指導の黙想会があり、聖骸布について語っていただきました。

9. 2019年度の南山教会行事予定表
新しい予定表について確認し、一部修正がありましたので最終版を後日印刷します。

今回は信徒の方からの繋がりでコンプリ神父様にお越しいただきました。今後とも信徒の方からお話を聞きたい講師があれば是非ご紹介ください。

10. 大規模補修プロジェクト・営繕委員会より
懸案のひとつである天井改修については終わりましたが、改修後の写真を皆さんに展開しようと考えています。

この教区平和旬間につきまして

5月の運営委員会にて神父様からお話をいただく予定です。

は、宣教司牧評議会と社会福音化推進部が進めています。

5月の運営委員会にて神父様からお話をいただく予定です。

は、宣教司牧評議会と社会福音化推進部が進めています。

5月の運営委員会にて神父様からお話をいただく予定です。

今後とも教会で壊れている所などがあれば、ご連絡をお願いいたします。

11. 納骨堂管理委員会より

壊れている窓ガラスの修理日程が決まり、4月16日～19日で実施されます。この間で、教会への通行が規制されることがありますので、注意してください。

修理費用は約100万円です。

既に運営委員会で承認をいただいております。

地下マンホールの修理を3月19日に実施し、4万7千円でした。

高圧洗浄機を使用して納骨堂を綺麗にする計画をしています。今後また案内しますので、ご協力頂ける方はよろしくお願いします。

12. その他

マリア会

・4月5日マリア会のごミサは、アルバート神父様の司式で行われました。暖かい笑顔で例会にも参加して下さいました。感謝のひとときでした。

・活動メンバー表、兼、緊急連絡表を配布しました。

・前年度に引き続き、被災者支援募金活動を行い、カリタスジャパんに送金します。

・3月31日福音館バザーご協力の御礼が、伊藤公子さんよりありました。

審議・相談事項

1. バザー実行委員会より

信徒会館が無くなりマリア館の中で使用できるスペースが減ることを踏まえ、中庭を使用する前提で簡易折り畳み式テントの購入を承認いただきました。ひとはり

1万6千円程度で5×6はりの購入を検討しています。従来の大型テントは、ボーイスカウトの協力を得られなくなつたなどの理由

で、労力的に難しいと判断しています。

ます。

・コーヒーショップのテーブルを、当日外に置けるかコーヒーショップと調整します。

トについて

毎年恒例のイースターエッグに毎年恒例のイースターエッグに ついて、偏つた方々への負担と なってしまつているので、今年は 信徒全員を対象にしたいと思いま す。

全部で600個を想定しており、200個をマリア会が、200個を教会学校が作る予定です。

プロジェクトであと200個を担当し、4月20日にマリア会が茹 でてくださったあとイースター 0個を教会学校が作る予定です。

プロジェクトであと200個を 担当し、4月20日にマリア会が茹 えてくださったあとイースター 0個を教会学校が作る予定です。

プロジェクトであと200個を 担当し、4月20日にマリア会が茹 えてくださったあとイースター 0個を教会学校が作る予定です。

プロジェクトであと200個を 担当し、4月20日にマリア会が茹 えてくださったあとイースター 0個を教会学校が作る予定です。

プロジェクトであと200個を 担当し、4月20日にマリア会が茹 えてくださったあとイースター 0個を教会学校が作る予定です。

プロジェクトであと200個を 担当し、4月20日にマリア会が茹 えてくださったあとイースター 0個を教会学校が作る予定です。

プロジェクトであと200個を 担当し、4月20日にマリア会が茹 えてくださったあとイースター 0個を教会学校が作る予定です。

プロジェクトであと200個を 担当し、4月20日にマリア会が茹 えてくださったあとイースター 0個を教会学校が作る予定です。

プロジェクトであと200個を 担当し、4月20日にマリア会が茹 えてくださったあとイースター 0個を教会学校が作る予定です。

プロジェクトであと200個を 担当し、4月20日にマリア会が茹 えてくださったあとイースター 0個を教会学校が作る予定です。

パーティーについては8テー

ブルの予定で、食べ物はピザやサン

ドイッチ、持ち込まれたものを

色々と準備します。

4. 5月の諸行事について確認

12日..聖母行列、教会美化(雨

天時はマリア館内の清掃、予備日

なし)とBBQ(雨天決行)

19日..インターナショナル・ミ

サの献金係とパーティー会

ル・ミサの各担当の確認について

6. その他

・聖堂のワックスがけ、厨房の床

掃除をしてはどうでしょうか。業

次回は5月5日

南山句会

二〇一九年三月一七日



四旬節ぼつんと一舟ガリラヤ湖
春日背にロザリオ操る手怪しかり

せつ子

夕日浴びパンジー揺るる街の角
春がすみ明日へつなく誕生会

とく子

落椿芝生に画く舞踏会

ベランダに水打つ夕べ日は長し

一藤

校門にずらりマスクの受験生
蒲公英の楽園となり丘の墓地

豊子

菜の花の苦みも添へし夕餉かな
制服のきりりと並ぶ卒業式

令子

港見やる偉人の像に黄砂ふり
春の宵薄き雲間に双子の座

泰信

独り子を残し逝く母春浅し
祈る女夜のしじまの朧月

惇子

花屋へと目を向け爛漫春をみる
春愁や平成の道は何処へと

美智子

毎月第三日曜日九時半ミサ後

マリア館一階集会室

信者の消息

転出

いつまでもお元気で

イグナチオ 上島 雄高 (つくば教会)
マリア・マグダレナ 柴田 節子 (大阪梅田教会)

帰天

神の栄光にあずかれますように

3/13 マリア 野々垣 美幸 (79歳)

転入

ようこそ

お告げのマリア 山田 愛理澄 (平針教会)

教会維持費

3月は1,662,674円の維持費が納められました。有難うございました。

教会の維持・運営・宣教活動は、教会信者全員が毎月納める維持費によってまかなわれますので、よろしくお願ひします。

2019年4月・5月行事予定表

	教会典礼暦	南山教会行事	各会活動	教区行事・その他
4月		21(日)日英合同ミサ(9:30) 復活祭パーティー	5(金)マリア会例会(懇談会) 7(日)11:00運営委員会 7(日)教会学校始業式・初聖体説明会 13(土)10:30子ども部屋 14(日)中高生会始業式・教会周辺清掃 14(日)典礼委員会・ヨセフ会班長会 27(土)要約筆記付きミサ	(日)信徒協総会
5月	聖母の月	(決算書の承認) 決算書提出 12(日)マリア祭の聖母行列 (9:15)(母の日) 12(日)教会美化・BBQ	5(日)11:00 運営委員会 10(金)マリア会例会(懇談会) 12(日)典礼委員会 18(土)10:30 子ども部屋 19(日)ヨセフ会全体集会・班長会 19(日)教会学校潮干狩り 25(土)要約筆記付きミサ	12(日)召命祈願日 12(日)城東ブロック 19(日)一粒会総会 19(日)インターナショナル・ミサ、こどもの集い(南山教会) 26(日)世界広報の日・献金日 26(日)わだち祭り